

MONTHLY Fukku

マンスリー フック

発行
社会福祉法人
佐賀県社会福祉協議会
佐賀市天神一丁目4番15号
TEL0952-23-2145

■“誰もが安心して暮らせる地域づくり”へ向けて～「新任民生委員・児童委員研修会」を開催しました～

1月15日（木）アバンセ、22日（木）唐津市文化体育館、2月10日（火）北方公民館にて、令和7年12月の一斉改選で新たに委嘱された民生委員・児童委員を対象とした「新任民生委員・児童委員研修会」を開催しました。

▶本研修では、新たに委嘱された委員が、活動を行う上で必要な基礎知識を学び、その役割を理解することを目的に開催しました。

▶当日は、県庁各課から委員活動に関わる制度や施策等について行政説明を行い、続いて、九州大谷短期大学の中村秀一先生から「民生委員・児童委員制度の概要と基本的な役割」と題してご講義いただきました。中村先生からは「地域の笑顔のために、住民に寄り添った身近な相談相手として、まずはご自分が健康で楽しく活動してください」という力強いエールをいただきました。中村先生の身振り手振りを交えた熱い語りに、会場は深くうなづく人や感嘆の声を漏らす人、そして時折、笑い声にも包まれました。▶本会では、誰もが安心して自分らしく暮らせる地域づくりを目指し、民生委員・児童委員の皆さんが活動しやすい環境づくりを推進していきます。



【参加者に向けて
熱いエールを送る中村先生】

■地域の保育現場と出会う一日

～令和7年度第2回保育のおしごとフェアを開催しました～

1月24日（土）、鳥栖・三養基地区のショッピングモール「フレスポ鳥栖」において、「令和7年度第2回保育のおしごとフェア」を開催しました。

▶本フェアは、第1回の佐賀市開催に続き、鳥栖地区で県内の保育現場の魅力を発信することを目的に、保育の仕事に関心のある方を対象として実施しました。当日は、県内保育所・認定こども園等16事業所が参加し、地域に根ざした保育の取り組みや働き方について、直接話を聞ける機会となりました。▶会場には、学生や求職中の方、地域での就職を検討している方など25名が来場し、各ブースでは熱心な個別相談が行われました。面談者の延べ人数は62名にのぼり、参加者が複数の事業所を回りながら、地域の保育現場について理解を深める様子がうかがえました。▶来場者からは、「話しやすい雰囲気ですぐ話がかかった」「各園をPRするボードがあったり、一覧のパンフレットがあったりして分かりやすかった」といった声が寄せられ、地域での就職・定着につながる有意義な機会となりました。▶本フェアを通じて、保育の仕事への理解促進と、県内保育人材の確保につながる場を提供できました。今後も本会では、保育現場を支える人材の確保・定着に向け、引き続き取り組んでまいります。



【にぎやかな雰囲気ですぐ話がかかった様子】

■社会福祉功労者表彰式を開催～地域福祉を支える皆さまへ感謝を込めて～

1月29日(木)、佐賀市のアバンセにて「令和7年度 佐賀県社会福祉功労者表彰式」が開催されました。会場には約250名が参加し、厳かな雰囲気の中、長年にわたり地域福祉の向上に尽力されたボランティア、民生委員、社会福祉施設職員などの功績を称えました。▶本表彰式は、長年にわたり佐賀県の民生の安定や社会福祉事業に貢献されてきた方々を顕彰し、その功労に感謝の意を表するため、佐賀県、佐賀県社会福祉協議会、佐賀県共同募金会の共催により実施したものです。▶式典では山田会長から「地域の最前線で支え合いの輪を広げてくださっている皆さまの努力が、佐賀県の福祉を力強く前進させている」との感謝の言葉がありました。▶本会では、今後も草の根で福祉活動に取り組む皆さまに光をあて、その功績を広く伝える顕彰活動に力を入れていきます。



【被表彰者に表彰状・記念品を授与する様子】

■サービスの質の向上を目指して ～「佐賀県老人福祉施設研究発表会」の開催

1月16日(金)、神崎市千代田文化会館「はんぎーホール」にて「第7回佐賀県老人福祉施設研究発表会」を開催しました。この発表会では、県内の会員施設11施設が、質の高い介護サービスの提供に向けた取組や、地域の医療機関・社会資源との連携などについて発表しました。発表内容を共有することで、職員の専門性を高めることを目的としています。▶当日は、49施設145名の参加があり、今年初めて県内の福祉系高校から生徒・教職員30名も参加されました。また、嬉野高等学校からは、工業科や商業系列との学科をこえて協力した研究成果が発表されました。▶この大会では、参加者の投票により順位を決定し、1位には「科学的介護の実現と推進」をテーマに、ADL（食事や移動など日常生活動作）やQOL（生活の質）を高める取組を紹介したシルバーケア吉野ヶ里が選ばれました。▶参加者からは、「利用者のわずかなサインを見逃さず思いをくみ取ることの難しさ」と大切さを感じた」「食事など医療上どうしても制限しなければならないことが、利用者の権利擁護の観点からは、本人の希望を強制的に止めることにもつながり、発表施設と同じように葛藤している」といった感想が寄せられました。▶本会では、今後も引き続き、施設のサービスの質の向上や人材定着につながる取組を支援していきます。



【施設での日頃の取組を丁寧に紹介する発表者】

■新会長就任のお知らせ（令和8年1月20日付）



この度、令和8年1月20日付けで佐賀県社会福祉協議会及び佐賀県共同募金会の会長に山田 裕久（やまだ ひろひさ）（佐賀県商工会議所連合会 会長）が就任いたしました。新会長のもと、地域福祉活動の更なる推進に向け職員一丸として邁進してまいりますので、皆様の温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

【令和7年度佐賀県社会福祉功労者表彰式での主催者挨拶の様子】

◆県社協ホームページアドレス

<https://www.sagaken-shakyo.or.jp/>

◆県社協公式 Instagram

<https://www.instagram.com/sagakenshakyo/>

◆貸会議室予約システム

<https://sagaken-shakyo.resv.jp>

